



第58回 通常総代会を 開催しました。

6月14日(火)、第58回通常総代会を開催し、第1号から第4号までのすべての議案が賛成多数で可決されました。

- 総代会とは、生協の運営に関わる重要事項を決定する最高の意思決定機関です。
- 毎年6月に開催され、組合員の代表となる「総代」が参加し、京都生協の1年の予算や年間の活動方針、役員を選出などについて確認します。
- 今年も新型コロナウイルス感染拡大防止のため、昨年と同様に規模を縮小して開催しました。
- 総代 506人中 483人が出席(書面による出席 441人を含む)しました。
- 今総代会では、199件の「私の願い」が寄せられました。
- 総代会の開催にあたり、京都府知事・西脇隆俊様、京都市長・門川大作様をはじめ、多くの関係団体様より祝電メッセージをいただきました。

2021年度

取り組んだこと ~特徴的な取り組み~

宅配

- 2020年度に伸長した利用人数、利用高を維持する取り組みを進め、新加入者数は2020年度を上回りました。
- コース効率改善の取り組みを継続し、配達トラックの燃料使用量は2020年度より39,652ℓ減少しました。
- 夕食サポートの配達エリアを拡大し、新コースを立ち上げました。

店舗

- 4月にコープらくさい、10月にコープ下鴨が改装オープンしました。
- デジタルサイネージ、SNSなどで、情報発信のデジタル化を進めました。
- エシカル消費商品が分かりやすくなるよう、プライスカードへの表示を始めました。



組合員の願いに応える 商品・サービス

- 宅配・店舗ともにエシカル消費商品の普及を進めました。
- 南部物流センターで発生する予備商品の一部をフードバンクに提供する取り組みがスタートしました。



持続可能な生産と消費、 事業の推進

- コープらくさいとコープ下鴨でフードドライブをスタートし、実施店舗が13店舗に広がりました。
- 京都市と、「エシカル消費推進に係る連携協定」を締結しました。



広報活動 の強化

- 宅配トラックや店舗看板類など視認性の高いものからVIデザインのリニューアルを進めました。



第58回通常総代会を 迎えるにあたって

理事長 畑 忠男



第58回総代会にあたり、日頃から京都生協の事業や活動にご参加いただいております組合員の皆さまに心から感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の拡大は、社会や経済、そして私たちの暮らしに大きな影響を及ぼしました。京都生協は組合員の生活を支える基盤として、感染防止を徹底しながら、事業の継続、求められる商品・サービスの提供に全力で取り組んでまいりました。

世界ではロシアによるウクライナへの軍事侵攻が問題となっております。独立した主権国家に軍事力をもって侵攻することは、武力行使を禁止する国連憲章に対する重大な違反です。京都生協では抗議声明を発表し、戦争や暴力に反対する姿勢を明確にしています。

SDGsの理念でもある「持続可能な社会の実現」「誰一人取り残さない」は、協同組合の理念とも重なります。京都生協は2022年度も、組合員の期待に応える商品やサービスの提供、プラスチック問題や食品ロス削減への対応、デジタルシフト推進などを進めていきます。世界にも日本にも課題が山積していますが、未来に向けて明るい希望を共につくっていきましょう。ウクライナでの戦争や円安で食品などの諸物価も値上がりしていますが、京都生協は組合員の皆さまの毎日の暮らしを応援していきます。

2022年度

取り組むこと

KYOTO COOP アプリの 利用者拡大と利用定着

- 京都生協のサービスを総合的に利用できるアプリの普及を進め、組合員の利便性を高めます。

※京都生協の組合員向け総合スマートフォンアプリ：二次元バーコードでの支払い(店舗のみ)やモバイル組合員証、宅配eフレンズ注文など、京都生協のサービスを総合的に利用できるアプリです。



宅配

- 新加入者の利用定着、利用人数・世帯利用高の伸長を図ります。

店舗

- コープさかの改装を成功させます。
- 店舗の運営力・販売力・商品力を強化し、自動発注など、店舗におけるデジタルシフトを推進します。

移動店舗「おかいもの便」

- 車の台数を増やし、巡回エリアを拡大します。

社会的な役割

- 地域や環境、社会や人々に配慮して商品やサービスを購入する「エシカルなお買い物」を応援します。

- 「2030年 事業活動におけるCO₂排出量の2013年度比40%削減」に取り組めます。

- 「2030年 事業活動における使い捨てプラスチック使用量の2018年度比25%削減」に取り組めます。



「私の想い」として寄せられた 組合員の声に答えて

専務理事 高倉 通孝

今年度も、意見・質問用紙に加えて、フォームメーカーを使った意見交流、オンラインを活用した地区別議案検討会の開催により、199件の「私の想い」が寄せられました。大きく4つの特徴に分けて紹介します。

1 コロナ禍での事業継続に感謝の声

コロナ禍での事業継続や利用についての感謝の声をいただきました。「チラシを見て注文でき、おいしいものを届けてもらえる幸せを噛みしめている」「配達してもらえることに日々感謝」「宅配のカatalogが楽しく見やすくなっている」というお声をいただきました。ご利用いただいている組合員の皆さまに感謝申し上げたいと思います。

2 SDGs の取り組み

プラスチック問題について関心の高さをうかがえる発言が多くありました。プラスチック使用量の削減を進め、事業で排出するプラスチックの回収・リサイクルを組合員と一緒に推進できるよう、学習を深め、行動に移す機会をつくっていきます。

コープ SDGs 行動宣言では7つの取り組みを通じて目標達成に貢献することを約束しています。エシカル消費の推進や食品ロスの削減に向けて、より分かりやすい情報提供に努めていきます。

3 事業や活動について

デジタルシフトの取り組みについてのご意見や、新たなアプリについての期待の声が出されています。デジタル化で注文がしやすくなり、情報入手が便利になったという声の一方で、デジタル化についていけずにハードルが高いという声もあります。多くの人に気軽に利用していただけるよう、改善を進めていきます。

組合員活動についても、オンライン活用で参加が便利になった一方で、コミュニケーション上の物足りなさを感じる声もあります。安全に配慮しながら、ふれあいやつながりを感じることができるリアルな交流にもチャレンジしていきたいと思えます。

また、安全・安心な商品を提供してほしいという声は、組合員の基本的な願いとしてしっかりと受け止めてまいります。食の安全性の問題については、最新の科学的知見などの情報収集と情報提供、学習機会の確保に努めていきます。

商品の品揃えや店舗の運営についての具体的な要望も多岐にわたって寄せられています。一つひとつの声をしっかり受け止め、すぐにできることはスピーディーに、長い目で見なければならぬことは丁寧に進めていきます。

コープ二条駅の建て替えについては、長期間にわたる閉店となり、たいへん迷惑をおかけします。組合員の利便性を高め、新たな価値が提案できるような店づくりを目指し、しっかりと準備を進めていきます。

4 平和について

ロシアによるウクライナへの軍事侵攻では、子どもも含め一般市民の尊い命が失われ、自由を奪われ、命の危機にさらされている様子を見聞きしています。戦争や暴力のない平和な世界であってこそ、私たちは安全・安心な食べ物を手に入れることができ、豊かな生活文化を創造していくことができます。

平和な世界の実現に向けて、核兵器禁止条約の批准を求める署名活動に取り組みます。また、改憲の動きを注視し、日々の暮らしに憲法が大きく関わっていることについて、一人ひとりが主体的に判断できるように学習の場を大切にしていきます。

そのほかにも多くのご意見をいただいています。本日ここですべての声にコメントできませんが、それぞれ貴重なご意見を受け止め、実現に向けてできることを明確にしてまいります。

2022年度の事業の推進について

2022年度の事業も、消費者物価の上昇やウクライナ情勢、コロナ感染症の動向による影響を受け、厳しい経営状況が見えてきています。第2号議案で示している重点課題の一つひとつしっかりと進めていきます。

京都生協は「頼もしい隣人たらん」を理念としています。京都生協が設立された1964年、高度経済成長による物価の高騰が暮らしを直撃し、食の安全性に対する不安が高まる中、「お互いに助け合って暮らしていきましょう」と呼びかけられた言葉です。現在の状況も設立当時と重なる部分が多くあります。「頼もしい隣人たらん」の精神

で人々がつながりあい、力を寄せあって希望ある社会をつくっていく、そんな「協同」の価値を発揮する時ではないでしょうか。

この一年、京都市との連携協定の締結、大学生協との協同による大学生支援、フードバンクの取り組みなどにより、安心して暮らせる地域社会づくりに向けた一歩を踏み出しています。

2022年度は、京都生協コープ商品のパッケージや職員の制服デザインの変更を行い、ブランディングの取り組みを進めていくと同時に、組合員の暮らしを応援するという使命を果たしていきます。希望ある未来に向けて、京都生協が役割を発揮していくことを決意いたします。希望あふれる社会を共につくっていきましょう。

議案採決結果

議案	反対	保留	賛成
第1号 2021年度 事業報告、決算関係書類承認の件	5	6	多数
第2号 2022年度 事業計画および予算決定の件	9	10	多数
第3号 役員選任規約の一部改定の件	4	13	多数
第4号 役員報酬決定の件	10	22	多数

全ての議案が賛成多数で可決されました

総出席状況

本人出席 42 委任状 0 書面出席 441 合計 483 (採決数は議長2人を除く)

2021年度 事業の到達

■ 総事業高 886億4,290万円 (予算差+28億5,290万円)

供給事業	実績	予算差	前年差
宅配事業	592億910万円	+21億9,310万円	△14億9,309万円
店舗事業	261億8,459万円	+5億6,559万円	△5億264万円
葬祭事業	8,769万円	△1,330万円	△473万円
供給高合計	854億8,138万円	+27億4,538万円	△20億46万円

・福祉事業収入 4億7,913万円 (予算差+713万円)
・その他事業収入* 26億8,238万円 (予算差+1億38万円)
※共済受託手数料や葬祭承り手数料、個配手数料などの収入

感染症対策を行いました

会場でも間隔を空けて席を配置しました。



マスク着用の徹底をはじめ、会場入口ではアルコールで手を消毒、受付はソーシャルディスタンスを守って並んでいただきました。

■ 経常剰余金

24億4,544万円 (予算差+11億4,544万円)

※事業総剰余金から事業経費・事業外収支を差し引いた金額。通常の事業活動をして最後に残った利益です。

■ 2021年度経営結果

経常剰余金	24億4,544万円
特別損失	3,870万円
税引前当期剰余金	24億1,267万円
法人税等	6億9,615万円
法人税等調整額	△6,361万円

当期剰余金	17億8,013万円
前期繰越剰余金	8,866万円
システム最適化積立金取崩額	1億3,000万円
新型コロナウイルス感染症等災害対応・支援貢献積立金取崩額	1,600万円
人材育成積立金取崩額	200万円
社会貢献活動積立金取崩額	200万円
当期末処分剰余金	20億1,880万円

■ 2021年度剰余金処分

法定準備金	1億8,000万円
出資配当金	1億1,997万円
任意積立金	16億2,200万円
次期繰越剰余金	9,682万円

■ 出資配当率

0.70%

2021年度の出資金に対する配当を年0.70% (税引後0.55706%) とすることを決定しました。本事業年度末(2022年3月20日)に出資金残高を有する組合員で、かつ、本総代会当日に在籍している組合員に対して配当します。